

2008 . 春

三重の 生きものだより

第37号



春になると、さまざまな植物が芽吹き始めます。その中でも私のいちばんのお気に入りにはワラビです。ワラビは、日当たりの良い山地に生えるシダ植物です。芽吹いて間もない握りこぶしのように巻いている若葉とその茎は、おいしい「山菜うどん」や「山菜おこわ」などの料理に使われています。しかし、この若葉も成長すると葉を広げ、シダの姿になるのです。地中では長く伸びる地下茎をもち、地面の所々から芽を出すため、一本見つけると周りにはたくさんのワラビが生えています。みんな家族といったところでしょうか。この写真のワラビ、まるで頭を下げておじぎをしているようでしょ？他にも太くて力強いもの、ひょろひょろと細いものなど、成長に伴いさまざまな姿が見られます。みなさんもこんなワラビを探しに、山へ出かけてみてはいかがでしょうか。